

おじさんプロジェクト（仮称）

おやじ世代の地域活動参加を促進させよう！

おじさんプロジェクト(仮称)に至る流れ



新しい活動づくりに向けて



コロナ禍での動き

おじさんプロジェクト（仮称）に至る流れ



新しい活動づくりに向けて



コロナ禍での動き

問題を深掘りした結果

助け合いの気持ちはあっても、高齢者（特に認知症の方）との考えの違いやトラブルが生じると途端に排除ムードになってしまう。

地域づくりの中核は町会であり、町会を新しい発想で活性化させることが必要ではないか。

いくら助け合いの気持ちはあっても、知らない人同士で助け合おうとは思わない。顔の見える関係が必要。

助け合いの気持ちはあっても、実際には働く世代では、時間に余裕がない。

おやじ世代は、親の世代の地域での付き合い方を見ているし、親の介護の心配などもしている。
まずはおやじ世代が地域で顔の見える関係になることが必要ではないか。

対応 1

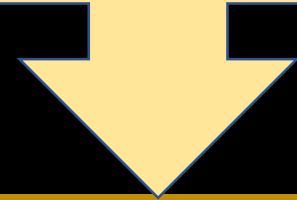
助け合いの気持ちはあっても、高齢者（特に認知症の方）との考えの違いやトラブルが生じると途端に排除ムードになってしまう。



地域ケア全体会議で「認知症になっても住み慣れた地域でその人らしい生活を営むために、住民、関係機関、行政の総合力による地域づくりを行う。」ことを目的に取り組み中。

対応2

地域づくりの中核は町会であり、町会を新しい発想で活性化させることが必要ではないか。

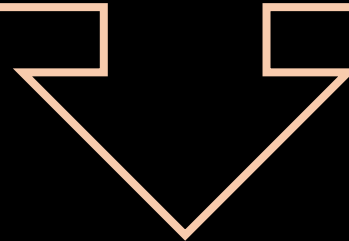


市民部の町会活性化検討会議により検討され始めた。生活支援コーディネーターが検討委員となっているため、助け合いの視点で意見を持ち込み反映させていくことができる。

対応3

おやじ世代は、親の世代の地域での付き合い方を見ているし、親の介護の心配などもしている。
まずはおやじ世代が地域で顔の見える関係になることが必要ではないか。

おじさんプロジェクト（仮称）



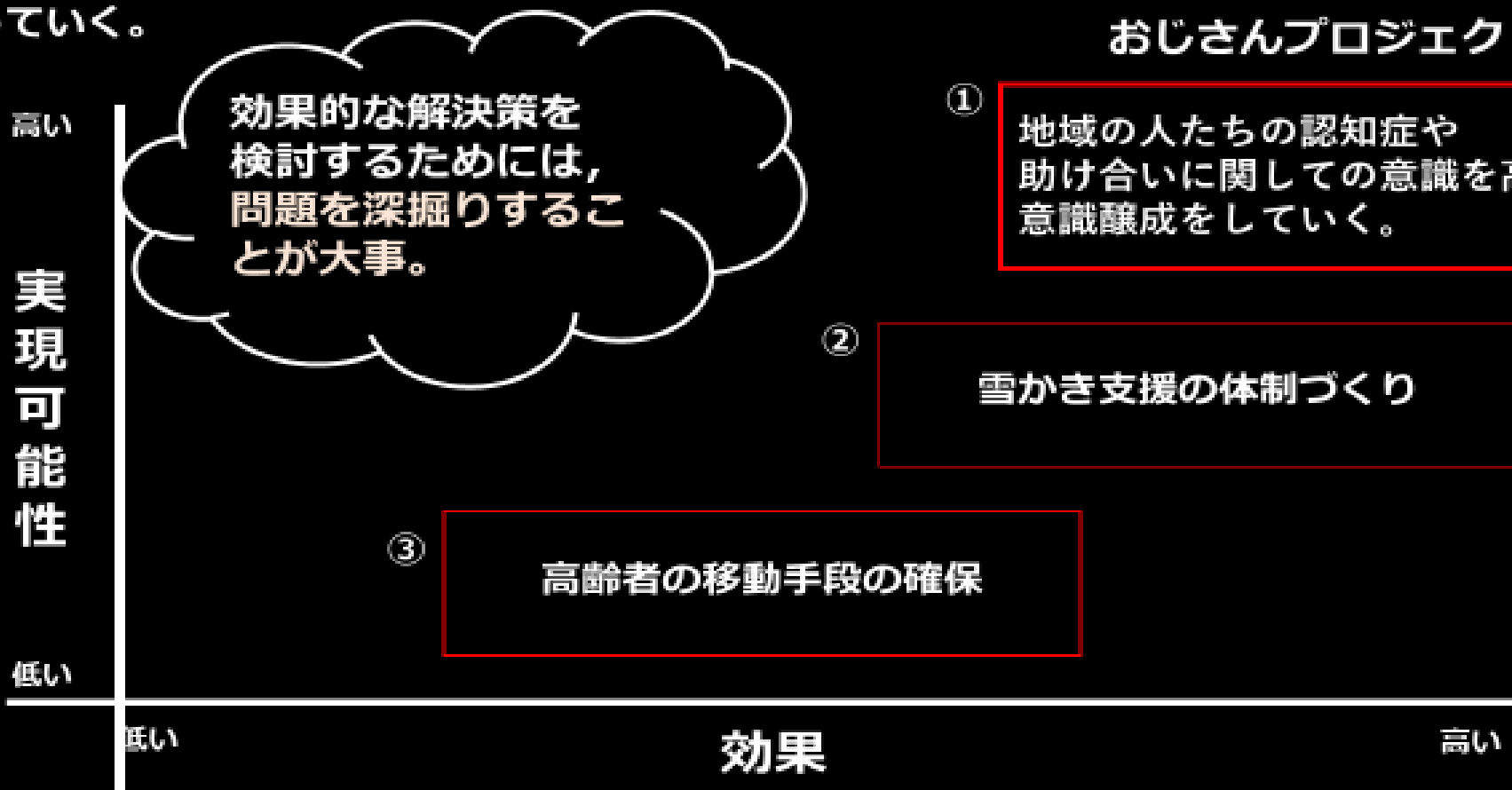
～第1層生活支援コーディネーターの動き～

おやじ世代の地域活動を探るため、
実際の活動者へインタビューを行う。

これから・・・

課題の優先順位

- ①ができてくると、
②③につながっていく。



おじさんプロジェクトに至る流れ



新しい活動づくりに向けて



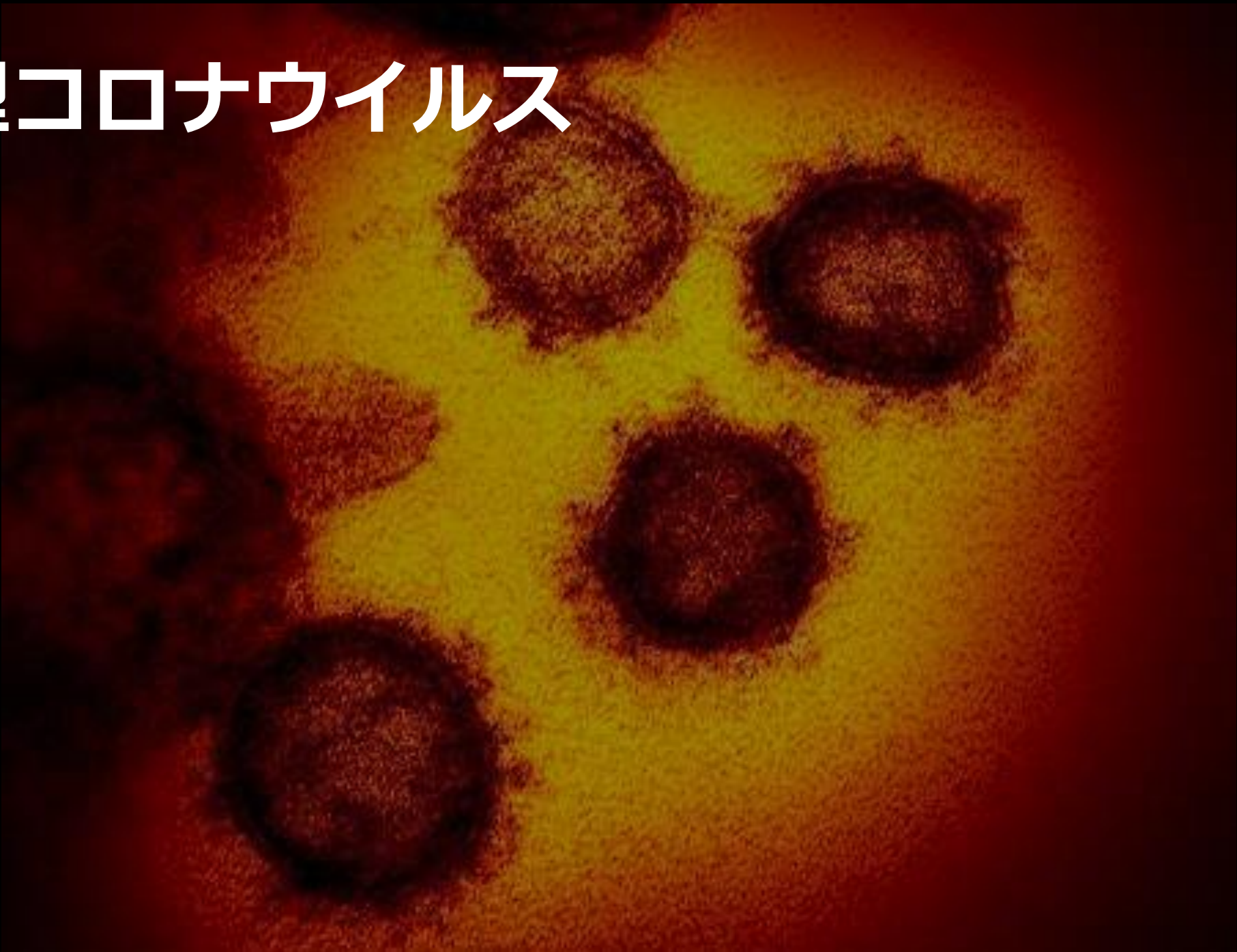
コロナ禍での動き

- ・活動しているおやじ世代のみなさんに、インタビュー
- ・全国の事例をみてる
- ・おやじ世代を引き込むコツを学ぶ



実際に、
おやじ世代による新しい活動をつくろう！

新型コロナウイルス



くらしのサポーターステップアップ研修 男性受講生をその気に！

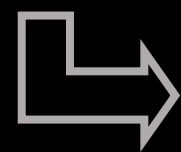
・令和2年11月4日～25日 計6回

※うち4回（1回は実践者発表の司会進行）担当



男性参加者8名に声掛け

「せっかくなので、
学んだことを活かして何かしましょう！」



日をあらためて、集まろう！

新型コロナウイルス



令和2年12月～

函館でも感染が急拡大

おじさんプロジェクトに至る流れ



新しい活動づくりに向けて



コロナ禍での動き

①感染拡大で、 全員で集まることは難しくなった



- ・ 個別に何名かと電話や直接お会いし、意見交換等を行った。
- ・ コロナが収まってきたら、皆で集まり検討する。

②ステップアップ研修受講生だけで、
ゼロから活動を立ち上げるは難しい。



◆活動案

- ・ 既存のイベントや、活動の支援・手伝い
- ・ 学校の部活応援団や、校内作業等の手伝い
- ・ おじさんを軸にした居場所づくり

③ ステップアップ研修受講生だけでは、 動きが弱いかも



- 既に活動を経験している方へ協力依頼
- NPO、活動団体等からの情報収集
- 学校（コミュニティスクール含む）との連携
情報収集
- 居場所として利用可能な物件等の情報収集